

大切にできる力・自分で表現する力・チャレンジする力

なかすじっ子

2023年
12月22日
No.18
文責：永野

四万十市立中筋小学校 学校通信

2学期の学習の姿

授業では、学習リーダーを活用した中筋スタンダードで『問題一見通し—めあて—ひとり学び—とも学び—まとめ—適用問題—振り返り』の流れを基本として、子どもがリーダーになって学習を進めることを2学期も引き続き取り組んできました。1学期より更に子どもたちも意識して自分たちでやろうとする姿が見えました。特に、「とも学び」は本校の研究の柱としており、子どもたちが意見を交わして一人ひとりが納得できる話し合いを進めていくために、教師の発問の内容を明確にすることを大事にしてきました。

1年生は2学期からリーダー学習を始め、リーダーが司会者となって授業を進められるようになってきています。「わけは、…」と自分の理由を言うことも意識して発表する姿があります。なかよし学級とたんぽぽ学級では、それぞれの学級で学習ペースに合った内容を担任の先生と45分間フルに学習を進めています。じっくり考える姿が身についています。2・3年生は担任が片方の学年に入っているときは特に自分たちでやり切ろうとする気持ちが強くなるようで、動きが活発になります。4年生は3人で黒板の前に集まって話し合う姿があります。5・6年生は常にタブレットへひとり学びでの考えを書きこみ、とも学びに入ります。ひとり学びで考えた自分の考えをとも学びで発表し、その理由を説明したり、友だちの意見に質問をしたり、友だちの考えを説明したりと、45分で全員が納得できるように意見を交わします。教師は、大事な場面では必ず入ってポイントを子どもたちに抑えられるよう導きます。更にそれを活用して適用問題を解くことで45分を終えます。

今年度の研究として昨年同様ICTについても、授業で効果的に使わせることを前提で活用しています。3学期も引き続き研究を続けていきます。



1年



なかよし



たんぽぽ



3年



2年



4年



5年



6年

